

授業科目名	相談援助入門	単位数	2単位
担当教員名	平雅夫、神原由佳	担当形態	複数
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）  DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>(1) ソーシャルワークを念頭に、対人的な相談援助の構成要素と展開過程を理解する  (2) 相談援助を実践するための価値、原理・原則、基本的な姿勢を理解する  (3) 相談援助の方法とくに相談面接の技法について学ぶ</p>			
<p>授業の概要</p> <p>近年、ソーシャルワーカーの活躍の場は広がりを見せている。ソーシャルワーカーがアプローチする領域には、マイクロレベル（個人や家族）、メゾレベル（コミュニティ）、マクロレベル（社会）と、多岐にわたるが、人の尊厳の尊重や社会正義などの価値観は変わらない。この授業では、相談援助の基本として、クライアントと信頼関係を構築するための方法について学び、考える。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：現代社会における私たちの生活課題と相談援助  第2回：ソーシャルワークとはどのようなものか  第3回：ソーシャルワークの基盤・価値・原則  第4回：対人援助の作法を身につける前に  第5回：言葉を用いず信頼関係を築く作法  第6回：相手の気持ちに寄り添う作法  第7回：相手に質問するときの作法  第8回：相手に伝えるときの作法  第9回：相手のもっている力を引き出す法  第10回：苦手を感じず相手とかかわる作法  第11回：対応が困難に思える人への作法  第12回：相談援助の展開過程（プロセス）①  第13回：相談援助の展開過程（プロセス）②  第14回：相談援助の展開過程（プロセス）③  第15回：授業のまとめ  科目修得試験</p>			
<p>スクーリングでの学修</p> <p>スクーリングでは、主に第12回～第14回を扱う。</p>			
<p>テキスト</p> <p>(1) 大谷佳子（2022）『対人援助のスキル図鑑』中央法規、978-4-8058-8449-2  (2) 木下大生・藤田孝典（著）（2015）『知りたい! ソーシャルワーカーの仕事（岩波ブックレット）』岩波書店  9784002709246</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>(1) 岩崎晋也他（監修）（2022）『ソーシャルワークの理論と方法1（新・MINERVA 社会福祉士養成テキストブック5）』ミネルヴァ書房 9784623053919  (2) 武田健・津田耕一（2016）『ソーシャルワークとは何か：バISTEックの7原則と社会福祉援助技術』誠信書房  9784414603330</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）</p>			